

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神障害治療学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	801
担 当 教 員	大野 力				
実務経験と その関連資格	作業療法士として精神科病院へ勤務。統合失調症などの精神障害領域の作業療法に5年間従事。 臨床実習指導者研修修了認定 MTDLP基礎研修修了 作業療法学修士学位取得 認定作業療法士資格取得 作業療法学会論文査読委員				

《授業科目における学習内容》

GIO:精神科作業療法における疾患別の作業治療学を習得する。SBO:①精神科作業療法の疾患別の回復過程が説明できる。②精神科作業療法の疾患別の治療・援助の構造が説明できる。③精神科作業療法の理論を説明できる。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験: 60%
2. 小テスト: 20%
3. レポート: 20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:精神障害と作業療法 一新版一
 参考図書:標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第3版

《授業外における学習方法》

予習することが望ましい。講義は書籍を読んでいる前提で行います。
 講義で学んだ技法は日々使用可能なので、意識して行うこと。

《履修に当たっての留意点》

精神科作業療法の治療法習得については、ペーパーペイシエントを用いて事例検討をします。グループワークを用いて、統合と解釈、目標設定・治療計画立案を体験学習することで、臨床力に繋げていきます。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	精神認知系作業療法の理論が言える	教科書・参考書	第8章 精神認知系作業療法の理論・モデル・関連療法の予習
	各コマにおける授業予定	精神機能作業療法の基本的視点		
第2回	授業を通じての到達目標	精神認知系作業療法のモデル・関連療法が言える	教科書・参考書	第8章 精神認知系作業療法の理論・モデル・関連療法の予習
	各コマにおける授業予定	精神保健医療福祉と作業療法		
第3回	授業を通じての到達目標	回復過程に沿った作業療法が言える。	教科書	第6章 作業療法の実践の予習
	各コマにおける授業予定	回復過程に沿った作業療法 ①		
第4回	授業を通じての到達目標	回復過程に沿った作業療法が言える。	教科書	第6章 作業療法の実践の予習
	各コマにおける授業予定	回復過程に沿った作業療法 ②		
第5回	授業を通じての到達目標	神経症圏疾患の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	感情障害と作業療法 神経症圏・摂食障害 と作業療法		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	物質関連障害の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	物質関連障害 と作業療法		
第 7 回	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害とてんかんの作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	パーソナリティ障害・てんかんと作業療法		
第 8 回	授業を通じての到達目標	統合失調症の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	統合失調症と作業療法		
第 9 回	授業を通じての到達目標	統合失調症の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	統合失調症と作業療法		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	各疾患の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	感情障害・物質関連障害・神経症圏・摂食障害・パーソナリティ障害・てんかん・統合失調症 と作業療法		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	作業療法評価の関連を言える。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	A氏の事例紹介、作業療法評価の実践 ―臨床思考の体験―		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	事例像を言える。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―臨床思考の体験―		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	肯定的側面、否定的側面を言える。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―臨床思考の体験―		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	治療目標を設定できる。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―症例報告書作成―		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	治療計画を立案できる。	教科書・参考書	臨床思考過程体験 (第11回～第14回)の 復習
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―フィードバック―		